

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和4年4月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	994
		2号炉	4,327
		3号炉	4,327

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	4月8日	951	800 以上
		2号炉	4月30日	1,005	
		3号炉	4月30日	1,015	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	4月8日	170	概ね 200 以下
		2号炉	4月30日	170	
		3号炉	4月30日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	4月8日	7	100 以下
		2号炉	4月30日	8	
		3号炉	4月30日	6	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					ppm		180 ppm
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	4月19日	5月18日	µg/m ³	50 µg/m ³	
ばいじん	1回/2月					0.50 m ³ N/h		85.3 m ³ N/h
塩化水素	1回/2月					15 ppm		
窒素酸化物	1回/2月					<0.00070 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
全水銀	1回/4月					31 mg/m ³ N		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	4月19日	5月18日	19 ppm	200 mg/m ³ N	
ばいじん	1回/2月					78 ppm		
塩化水素	1回/2月					0.29 m ³ N/h	85.7 m ³ N/h	
窒素酸化物	1回/2月					8.5 ppm		
全水銀	1回/4月					<0.00068 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月	31 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N					
全水銀	1回/4月	19 ppm		180 ppm				
窒素酸化物	1回/2月	77 ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	3.2 µg/m ³		50 µg/m ³				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和4年5月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,223
		2号炉	4,591
		3号炉	1,751

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	5月31日	940	800 以上
		2号炉	5月31日	952	
		3号炉	5月11日	978	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	5月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	5月31日	170	
		3号炉	5月11日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	5月31日	8	100 以下
		2号炉	5月31日	10	
		3号炉	5月11日	7	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	5月17日	6月13日	0.19 m ³ N/h	85.0 m ³ N/h
	5.8 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00081 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					42 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	25 ppm						
窒素酸化物	1回/2月					84 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				-	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				µg/m ³	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				µg/m ³	50 µg/m ³	

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和4年6月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,324
		2号炉	2,001
		3号炉	4,323

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	6月30日	941	800 以上
		2号炉	6月30日	958	
		3号炉	6月30日	986	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	6月30日	170	概ね 200 以下
		2号炉	6月30日	170	
		3号炉	6月30日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	6月30日	7	100 以下
		2号炉	6月30日	8	
		3号炉	6月30日	6	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					ppm		180 ppm
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	6月7日	7月1日	µg/m ³	50 µg/m ³	
ばいじん	1回/2月					0.43 m ³ N/h		84.3 m ³ N/h
塩化水素	1回/2月					13 ppm		
窒素酸化物	1回/2月					<0.00076 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
全水銀	1回/4月					4.9 mg/m ³ N		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	6月21日	7月14日	3 ppm	200 mg/m ³ N	
ばいじん	1回/2月					75 ppm		
塩化水素	1回/2月					80 ppm	180 ppm	
窒素酸化物	1回/2月					1.6 µg/m ³		
全水銀	1回/4月					0.23 m ³ N/h	83.8 m ³ N/h	
窒素酸化物	1回/2月	7.5 ppm						
ばいじん	1回/2月	<0.00081 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N					
塩化水素	1回/2月	14 mg/m ³ N						
窒素酸化物	1回/2月	8.7 ppm	200 mg/m ³ N					
全水銀	1回/4月	80 ppm						
窒素酸化物	1回/2月	180 ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	50 µg/m ³						

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和4年7月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
		可燃ごみ	1号炉
	2号炉		1,843
	3号炉		4,594

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	7月27日	939	800 以上
		2号炉	7月31日	950	
		3号炉	7月31日	991	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	7月27日	170	概ね 200 以下
		2号炉	7月31日	170	
		3号炉	7月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	7月27日	7	100 以下
		2号炉	7月31日	6	
		3号炉	7月31日	6	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
		冷却設備	1号炉
2号炉			稼働時常時機械除去
3号炉			稼働時常時機械除去
排ガス 処理設備		1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	7月14日	8月30日	0 ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉			ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉			ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	7月12日	8月9日	0.18 m ³ N/h	86.6 m ³ N/h
	5.1 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00080 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					4.8 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					2.9 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				※6 1.3(再測定結果 R5.2.20,21)	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉			m ³ N/h	— m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					µg/m ³	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉			m ³ N/h	— m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					µg/m ³	50 µg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

※6 1号炉は基幹改良工事に伴い7月28日より停止しており、稼働後(令和5年2月予定)に測定を実施。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和4年8月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	0
		2号炉	4,598
		3号炉	4,602

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	休炉	—	800 以上
		2号炉	8月31日	951	
		3号炉	8月31日	940	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	休炉	—	概ね 200 以下
		2号炉	8月31日	170	
		3号炉	8月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	休炉	—	100 以下
		2号炉	8月31日	7	
		3号炉	8月31日	7	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング ^o 口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	8月23日	10月7日	0.0006 ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	8月23日	10月7日	0.0014 ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング ^o 口)	1号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					ppm		180 ppm
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング ^o 口)	2号炉	8月9日	9月6日	µg/m ³	50 µg/m ³	
ばいじん	1回/2月					0.31 m ³ N/h		83.8 m ³ N/h
塩化水素	1回/2月					9.9 ppm		
窒素酸化物	1回/2月					<0.00068 g/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月					4.2 mg/m ³ N		
硫黄酸化物	1回/2月	2.6 ppm	煙突 (サブリング ^o 口)	3号炉	8月16日	9月9日	76 ppm	180 ppm
ばいじん	1回/2月	0.11 m ³ N/h					87.1 m ³ N/h	
塩化水素	1回/2月	3.2 ppm						
窒素酸化物	1回/2月	<0.00079 g/m ³ N					200 mg/m ³ N	
全水銀	1回/4月	14 mg/m ³ N						
		8.9 ppm	50 µg/m ³					
		69 ppm						
		- µg/m ³						

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和4年9月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	—
		2号炉	4,453
		3号炉	4,452

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	休炉	—	800 以上
		2号炉	9月30日	937	
		3号炉	9月30日	950	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	休炉	—	概ね 200 以下
		2号炉	9月30日	170	
		3号炉	9月30日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	休炉	—	100 以下
		2号炉	9月30日	8	
		3号炉	9月30日	8	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備に たい積したばいじん※ ² の除 去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					ppm	
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					µg/m ³	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	9月20日	10月17日	0.14 m ³ N/h	86.2 m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					4.1 ppm	
塩化水素	1回/2月					<0.00076 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					12 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月					7.6 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					80 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					1.5 µg/m ³	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					ppm	
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					µg/m ³	50 µg/m ³

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和4年10月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	—
		2号炉	4,046
		3号炉	1,981

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	休炉	—	800 以上
		2号炉	10月31日	933	
		3号炉	10月14日	984	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	休炉	—	概ね 200 以下
		2号炉	10月31日	170	
		3号炉	10月14日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	休炉	—	100 以下
		2号炉	10月31日	12	
		3号炉	10月14日	8	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備に たい積したばいじん※ ² の除 去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					ppm	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N	180 ppm
全水銀	1回/4月					ppm	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					ppm	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N	180 ppm
全水銀	1回/4月					ppm	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	10月6日	11月2日	8.4 m ³ N/h	87.6 m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					0.3 ppm	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					<0.00078 g/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					39 mg/m ³ N	180 ppm
全水銀	1回/4月					24 ppm	50 µg/m ³

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和4年11月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	—
		2号炉	4,449
		3号炉	—

項目	データ	測定位置	結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)		燃焼室 出口	1号炉	11月1日	—	800 以上
			2号炉	11月30日	955	
			3号炉	11月1日	—	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)		集じん器 入口	1号炉	11月1日	—	概ね 200 以下
			2号炉	11月30日	170	
			3号炉	11月1日	—	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)		集じん器 出口	1号炉	11月1日	—	100 以下
			2号炉	11月30日	10	
			3号炉	11月1日	—	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

項目	データ	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ ³		1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
				2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
				3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

項目	データ	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん		1回/2月				ppm		
塩化水素		1回/2月				g/m ³ N	0.08 g/m ³ N	
窒素酸化物		1回/2月				mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
全水銀		1回/4月				ppm	180 ppm	
		1回/4月				µg/m ³	50 µg/m ³	
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	11月15日	7.5 m ³ N/h	86.0 m ³ N/h	
ばいじん		1回/2月				0.26 ppm		
塩化水素		1回/2月				<0.00075 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物		1回/2月				22 mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀		1回/4月				13 ppm		180 ppm
		1回/4月				82 ppm		180 ppm
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	µg/m ³	50 µg/m ³	
ばいじん		1回/2月				m ³ N/h	— m ³ N/h	
塩化水素		1回/2月				ppm		
窒素酸化物		1回/2月				g/m ³ N	0.08 g/m ³ N	
全水銀		1回/4月				mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
		1回/4月				ppm	180 ppm	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和4年12月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	—
		2号炉	4,541
		3号炉	3,736

項目	測定位置	結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	休炉	—
		2号炉	12月31日	948
		3号炉	12月31日	959
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	休炉	—
		2号炉	12月31日	170
		3号炉	12月31日	170
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	休炉	—
		2号炉	12月31日	10
		3号炉	12月31日	6

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉 2号炉 3号炉		ng-TEQ/m ³ N ng-TEQ/m ³ N ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉		m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N	0.08 g/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
全水銀	1回/4月				ppm	180 ppm	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉		µg/m ³	50 µg/m ³	
ばいじん	1回/2月				m ³ N/h	— m ³ N/h	
塩化水素	1回/2月				ppm		
窒素酸化物	1回/2月				g/m ³ N	0.08 g/m ³ N	
全水銀	1回/4月				mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	12月22日	1月27日	ppm	180 ppm
ばいじん	1回/2月					0.7 m ³ N/h	86.6 m ³ N/h
塩化水素	1回/2月					21 ppm	
窒素酸化物	1回/2月					<0.00066 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
全水銀	1回/4月					26 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
		15 ppm					
		72 ppm	180 ppm				
		µg/m ³	50 µg/m ³				

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和5年1月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	—
		2号炉	2,439
		3号炉	2,415

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	休炉	—	800 以上
		2号炉	1月17日	946	
		3号炉	1月31日	993	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	休炉	—	概ね 200 以下
		2号炉	1月17日	170	
		3号炉	1月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	休炉	—	100 以下
		2号炉	1月17日	18	
		3号炉	1月31日	5	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月	µg/m ³	50 µg/m ³					
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	1月5日	2月2日	0.19 m ³ N/h	81.5 m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					6.8 ppm		
塩化水素	1回/2月					<0.00078 g/m ³ N	200 mg/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月					28 mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					17 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月	59 ppm	50 µg/m ³					
全水銀	1回/4月	4.9 µg/m ³	50 µg/m ³					
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月	µg/m ³	50 µg/m ³					

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和5年2月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	1,850
		2号炉	4,076
		3号炉	4,021

項目	データ	測定位置	結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)		燃焼室 出口	1号炉	2月28日	937	800 以上
			2号炉	2月28日	950	
			3号炉	2月28日	963	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)		集じん器 入口	1号炉	2月28日	170	概ね 200 以下
			2号炉	2月28日	170	
			3号炉	2月28日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)		集じん器 出口	1号炉	2月28日	5	100 以下
			2号炉	2月28日	14	
			3号炉	2月28日	6	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備に たい積したばいじん※ ² の除 去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

項目	データ	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ ³		1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
				2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
				3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

項目	データ	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値		
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	2月28日	3月24日	0.52 m ³ N/h	84.6 m ³ N/h	
		15 ppm							
ばいじん	1回/2月	<0.00067 g/m ³ N					0.08 g/m ³ N		
塩化水素	1回/2月	42 mg/m ³ N							200 mg/m ³ N
		26 ppm							
窒素酸化物	1回/2月	73 ppm	180 ppm						
全水銀	1回/4月	1.6 µg/m ³	50 µg/m ³						
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
		ppm							
ばいじん	1回/2月	g/m ³ N					0.08 g/m ³ N		
塩化水素	1回/2月	mg/m ³ N							200 mg/m ³ N
		ppm							
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm						
全水銀	1回/4月	µg/m ³	50 µg/m ³						
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	2月21日	3月17日	0.27 m ³ N/h	85.7 m ³ N/h	
		7.6 ppm							
ばいじん	1回/2月	<0.00063 g/m ³ N					0.08 g/m ³ N		
塩化水素	1回/2月	21 mg/m ³ N							200 mg/m ³ N
		12 ppm							
窒素酸化物	1回/2月	77 ppm	180 ppm						
全水銀	1回/4月	4.9 µg/m ³	50 µg/m ³						

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和5年3月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,544
		2号炉	—
		3号炉	4,528

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	3月31日	958	800 以上
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	3月31日	978	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	3月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	3月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	3月31日	5	100 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	3月31日	6	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					ppm		180 ppm
	1回/4月					µg/m ³		50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					ppm		180 ppm
	1回/4月					µg/m ³		50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					ppm		180 ppm
	1回/4月					µg/m ³		50 µg/m ³

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。